けいはんな音楽コンクール

第3回 ピアノ部門 本選総評

　本選ご出場の皆様、おめでとうございます。
皆さんそれぞれに大変熱意のこもったのびやかな演奏をされ、最後まで楽しく聴かせていただきました。
また、選曲も非常に幅広く多彩であり、先生方の熱心な御指導を感じさせられます。

　私達は通常、楽曲の練習に当っては、ピアノのテクニック、曲の内容の理解、時代の様式、ペダリング等々、様々な視点からアプローチして、その曲の素晴らしさを理解してゆきますが、演奏に当っては、その素晴らしさを、聴く人達に「伝える」力が必要です。
特にステージ上では、ペダリングの効果が、大きく演奏表現に影響します。
日頃から、ペダリングによる響きの変化を注意深く聴き取りながら練習しましょう。

ステージで演奏する場合、普段の環境とは全く響きが異なりますので、会場のピアノで自分の音を聴き取りながら演奏できるのは、非常に貴重な体験です。
これからも皆さんがこのような機会に出場されて良い体験を積み重ね、大きく成長してゆかれるよう願っております。

主催者の方々の誠意のこもった運営にも、心から感謝申し上げます。

ピアノ部門 審査員長 宮本弘子